

金属加工科

溶接・板金の仕事

標準コース(6ヶ月)

定員:15名
開講月:4月・7月・10月・1月

導入訓練+標準コース(7ヶ月)

定員:2名
開講月:6月・12月

溶接と機械板金に関する企業への就職を目指す訓練コースです。訓練内容は「金属加工の基本と被覆アーク溶接および半自動アーク溶接」が3か月間、「TIG(ティグ)溶接と機械板金CAD」が3か月間となっています。金属の平らな板を立体にするための基本的な知識と技能を学びます。



ボール盤作業



機械板金



被覆アーク溶接



炭酸ガスアーク溶接

カリキュラム

<h3>金属加工基本</h3>	<p>図面を読む訓練や、物を正確に測る訓練をします。その他にも、穴あけ、研削、切断が安全に作業できるよう訓練をします。</p>
<h3>被覆アーク溶接</h3>	<p>被覆アーク溶接装置の取扱いができ、被覆アーク溶接ができるよう訓練をします。製作物を実際に曲げてみて割れない溶接を目指します。</p>
<h3>炭酸ガスアーク薄板溶接仕上げ作業</h3>	<p>炭酸ガスアーク溶接装置の取扱いができ、薄板の組み合わせた部分の溶接ができる訓練をします。また、外観が良好な状態に仕上げられるように訓練します。</p>
<h3>TIG薄板溶接</h3>	<p>交直両用TIG溶接装置の取扱いができ、軟鋼、ステンレス鋼に対するTIG溶接ができるよう訓練をします。薄板の組み合わせた部分の溶接できるように訓練をします。また、製作物を実際に曲げてみて割れない溶接を目指します。</p>
<h3>機械板金・プレス作業</h3>	<p>板を目的の長さとし形に切り、正確に曲げることができるよう訓練をします。その為に機械操作を覚えて図面通りの箱を作る訓練をします。</p>
<h3>板金CAD</h3>	<p>パソコンの文字入力といった基本操作から始まり、JW-CADの機能を使った作図の練習をし、課題を通してJW-CADを使った製図ができるよう訓練をします。</p>



TIG溶接



板金CAD

どんな仕事に就くか

- 鉄骨構造物や建築物などの溶接を行う金属加工業務
- 工作機械部品の製作や組立てなどを行う工作機器製造業務

主な職種

- 溶接工
- プレス工
- 板金工
- 金属加工
- 製缶工
- 組立工
- 機械板金工 等

取得可能資格

- ガス溶接技能講習修了証
(新潟労働局長登録教習機関 第27号有効期間満了日令和6年3月30日)
- アーク溶接特別教育修了証
- 自由研削といし特別教育修了証

任意取得可能資格

- JIS溶接技能者評価試験 (JIS検定)

修了生の主な就職先

ナウエス精工(株)、(株)ヤオイタ、(株)田村製作所、(株)星野製作所、今泉テント(株)、(株)大島鐵工所(株)昌和、(株)本宏製作所、(株)北川堂製作所、(株)遠藤製作所、(株)オーエックス新潟(順不同 敬称略)



Students voice

受講生の声

金属加工科に関する技術についてはもちろん知識もない状態で訓練をスタートしました。基本的なことから学べるので、不安だった気持ちも解消されました。また、先生方に何度質問しても丁寧に教えてくださり、その度に上達を実感できました。他の訓練生とも意見を交換し合いながら楽しく過ごすことができました。男性の割合が高いですが、女性だからと不安に感じることはないと思います！充実した訓練生活を送ることができ無事就職もできてよかったです。

(20代女性)